

令和5年度「医学生、研修医等をサポートするための会」

開 催 要 項

1. 目 的 男性・女性に関わらず、医師が生涯にわたって能力を十分に発揮するため、適正なキャリアを形成することは大きな課題である。そのためには、ワークライフバランスについて理解を深め、結婚、出産、育児、介護などのライフイベントを視野に入れた、多様なキャリアデザインを検討していくことが重要である。東京都医師会では、男女共同参画の視点から様々なモデル像を示し、情報提供・意見交換の場を設け、若手医師が今後のキャリアや働き方を具体的に考える一助となることを目的として本会を実施する。
2. 共 催 日本医師会・東京都医師会
(協力 杏林大学・三鷹市医師会)
3. 開催日時 令和5年11月18日(土) 午後2時～4時
4. 会 場 杏林大学医学部講義棟 A 3階 301号室 (WEB配信あり)
〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
5. 問合せ先 東京都医師会 広報学術課
電 話 03-3294-8821 (代)
6. 内 容 別添プログラムのとおり
7. 対 象 者 医学生、研修医等
8. 定 員 会場：100名
WEB配信：100名
9. 受講料 無 料
10. 申込方法 東京都医師会研修申込システムにて申込
下記 URL または右記 QR コードにてアクセス
<http://study.tokyo.med.or.jp/publish/Login>



令和5年度 東京都医師会「医学生、研修医等をサポートするための会」
—近未来の東京の医療を考えよう—

日 時：令和5年11月18日（土）14：00～16：00

会 場：杏 林 大 学

医学部講義棟 A3 階 301 号室 ※WEB 配信あり

司 会：東京都医師会理事 市川 菊乃

1. 開会の辞（14：00） 東京都医師会会長 尾 崎 治 夫

2. 基調講演（14：05）

「近未来の東京の医療に希望はあるのか？」

東京都医師会会長 尾 崎 治 夫

■質疑応答（14：25）

3. シンポジウム（それぞれの立場から 近未来の東京の医療を考える）（14：30）
（各 20 分）

（1）令和の医学生が 45 歳まで働き続けるには

杏林大学医学部麻酔科学教室教授

萬 知 子

（2）少子化で産科医はいらなくなるか

杏林大学医学部産科婦人科学教室教授

谷 垣 伸 治

（3）外科医の未来は明るいか—早くなんとかしないと—

杏林大学医学部消化器・一般外科学教室教授

須 並 英 二

■ パネルディスカッション（15：30）（25 分）

座長：富田 泰彦（杏林大学医学部付属病院総合研修センター教授）

4. 閉会の辞（15：55） 学校法人杏林学園 理事長 松 田 剛 明

共 催：公益社団法人 日本医師会／公益社団法人 東京都医師会

協 力：杏林大学／三鷹市医師会

令和5年度 医学生、研修医等をサポートするための会

日時：令和5年11月18日(土) 14時～16時

会場：杏林大学医学部講義棟A 3階301号室
ZoomによるWEB配信あり

定員 会場：100名 WEB配信：100名

申込方法 (事前申込制)

東京都医師会研修申込システムにて申込
下記URLまたはQRコードにてアクセスしてください。

<http://study.tokyo.med.or.jp/publish/Login>

申込締切は11月10日(金)です。



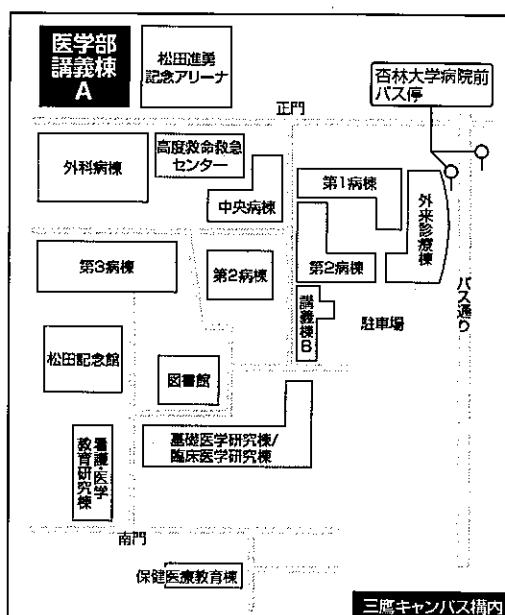
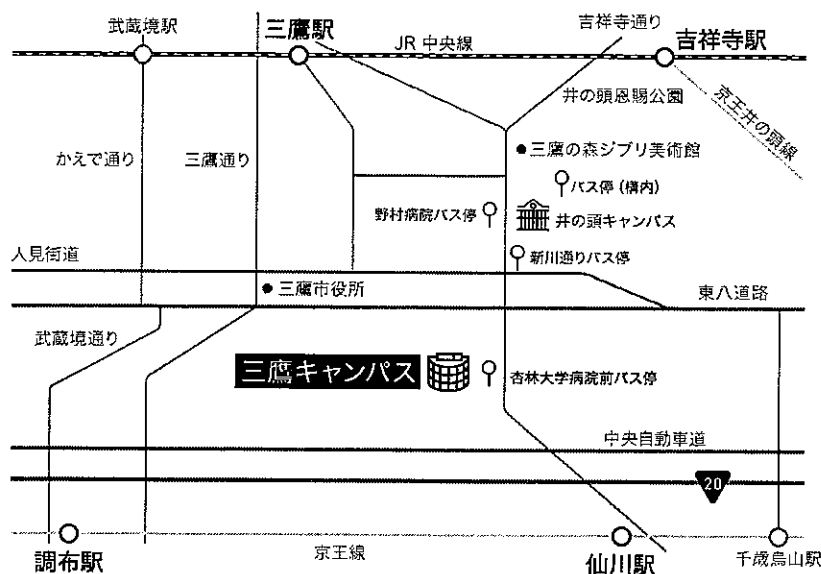
◆お申込み方法の詳細は東京都医師会ホームページにてご案内しております。
ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ先

東京都医師会 広報学術課

TEL 03-3294-8821(代)

メール:gakujyutsu@tokyo.med.or.jp



利用交通機関 ※井の頭キャンパスではなく三鷹キャンパスでの開催となりますのでご注意ください。

- JR中央線・総武線 三鷹駅より 仙川行、見華学園東行、野ヶ谷行 杏林大学病院前下車(約20分)
- JR中央線・総武線・京王井の頭線 吉祥寺駅より 野ヶ谷行、深大寺行、野ヶ谷経由調布駅北口行、仙川行、新川団地中央行 杏林大学病院前下車(約20分)
- 京王線 仙川駅より 三鷹駅行、吉祥寺駅中央口行 杏林大学病院前下車(約15分)
- 京王線 調布駅より 布田経由杏林大学病院前行、野ヶ谷経由吉祥寺駅・吉祥寺駅中央口行 杏林大学病院前下車(約25分)